

第1回 岩滝の縄文時代を考える

3回シリーズ
の1回目です

～ 寺東遺跡（岩井）と無手無冠農場遺跡（滝）の発掘資料から ～

岩滝まちづくり協議会
会長 取替 惣一

奈良時代の前が古墳時代、その前が弥生時代、その前が縄文時代ですから、ずっとずっと昔、岩滝にはすでに竪穴式住居^{たてあなしき}があって、たくさんの方が住んでいたようです。

その証拠が、昭和62年に発掘された岩井町の寺東遺跡と、平成3年に発掘された滝町の無手無冠農場遺跡です。

今回講師をしていただく田中彰先生は、長い間高山市の文化財担当をしてみえて、この2つの調査担当として直接発掘に携わられました。

当時の様子や出土した遺物などから分かったことをお話していただきます。

皆様お忙しいこととは存じますがどうぞご参加くださいますようご案内します。

記

日時 10月15日（水）午後7：30～8：30

場所 岩滝公民館 2階会議室

講師 田中 彰 先生



寺東遺跡の竪穴住居跡 （丸い穴は柱の穴）



← 住居入口に縄文式土器がうめてありました。（埋甕^{まいよう}といって、亡くなった幼児の遺骨などを入れ、次の生命として再生してくことを願ったようです。）

※ 皆様にお配りする資料準備の都合上、参加を希望される方は、下の用紙に記入して
10月10日（金）までに岩滝公民館へご提出願います。

----- キリトリ -----

10/15 岩滝歴史講座に出席します。

お名前 _____